

(様式2)

令和 5 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590101687	
法人名	社会福祉法人 遊生会	
事業所名	グループホームまいらいふ巻(2ユニット共通)	
所在地	新潟市西蒲区葉萱場56番地1	
自己評価作成日	令和5年10月5日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590101687-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会	
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2	
訪問調査日	令和5年11月29日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・法人理念である「ご利用者様のお気持ちを最優先に」に基づき、職員はご利用者様に寄り添って傾聴し、日々コミュニケーションを取っている。
- ・入居されるご利用者様には馴染みのある暮らしをしていただくために、これまでの「生活歴」に着目したかわりを重視し、自立支援に繋げている。
- ・ケアマネジメントはセンター方式を取り入れ、ご利用者様の思いや願いをお聞きしながらサービス計画に反映させて実施している。
- ・職員はご利用者様を認知症の人としてではなく、人生の先輩として尊重し接している。また、ご利用者様には出来る能力を発揮していただき、自立した日常生活が継続できるよう支援に努めている。そのために職員はユニットミーティングで話し合いの機会を持ちチームケアを行っている。
- ・ご利用者様には季節を感じていただけるように、季節の行事やイベントを計画して楽しんでいただいている。また1つの作品を作る時も、ご利用者様同士が協力し合い、出来上がった時の達成感を通じてお互いの仲を深めている。
- ・ご利用者様には掃除や洗濯、食事の準備などの役割があり、やりがいを感じていただきながら、活動的に過ごされている。
- ・音楽レクや調理レクなど利用者が室内でも楽しめるように工夫し、レクリエーションを通じてコミュニケーションをとっている。

○継続的な地域交流と自分らしく生活するための支援

地域密着型サービスの事業所としての役割を理解し、地域の一員として日常的に地域住民と交流を図ってきている。コロナ禍により地域との交流の機会が制限される中、地域のお祭りや季節行事、清掃活動等に可能な限り利用者とともに参加している。地域活動にともに参加することで、当たり前にならざるに交わされる挨拶や日常会話から住民との自然な交流が生まれている。事業所内では、地域ボランティアによる歌謡ショーや演奏会、カラオケなど多種多様なボランティアによる楽しみの提供が継続的に行われている。利用者は懐かしい曲には歌詞を口ずさんだり、リズムを取ったり、見事なできばえには惜しめない拍手と「また来てくださいね」と笑顔を交わしている。また、職員はその時々での本人の気分や意向に寄り添いながら、柔軟に散歩やドライブ外出等で季節に合わせた外出支援を行っており、日常活動の充実が図られている。

○食事を楽しむための取組と一人ひとりの力を活かした役割支援

食事のメニューは職員が作り、管理栄養士のアドバイスを受け、美味しく栄養バランスの良い食事提供に努めている。また、利用者の希望を聞きながらメニューの変更やアレンジを柔軟に行い要望に応えている。食材は地域のスーパーの他、近隣の農家から直接購入する等、新鮮で季節を感じる旬の野菜や果物を使用している。手作りおやつも利用者の大きな楽しみとなっており、いつも「残される牛乳」を職員の工夫により「完食できるデザート」にアレンジを行い、利用者からは美味しいと大好評を得ている。職員は利用者一人ひとりの力を活かしながら調理の下ごしらえや盛り付け、後片付け等を一緒に行い、それぞれが役割を持ち活躍できるよう支援している。利用者にとって食事が楽しみなものになるよう、全職員でチーム力を発揮し取り組んでいる。